

共生力

HP: <http://www3.ocn.ne.jp/~koryu/>

Tel: 03-3222-4190 Fax: 03-3222-4199

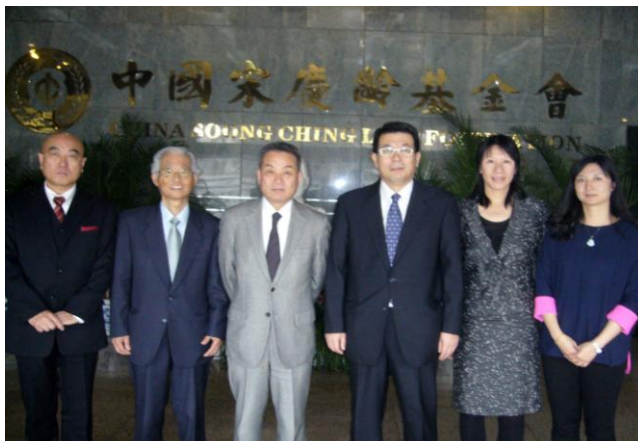
〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-3-9 第2太陽ビル 3F

発行人: 黒田文男

中国宋慶齡基金會を訪問

3月23日～25日に、協会代表（黒田代表理事・山中業務執行理事・赤岡理事）は、北京市の中国宋慶齡基金會を訪問し、井頓泉副主席と懇談し、今後の協力体制を確認しました。

会談では唐九紅基金部長、王プロジェクト処長・劉聯絡部副処長と今後の活動について率直な意見交換を行いました。



基金会玄関で井頓泉副主席と黒田代表理事ら

三重での成果と今後

黒田 三重での研修会は、各方面からとても良い評価を得ている。参加者の感想文にも感銘を受けた。日中教育交流に貢献できたと思う。今後の取り組みについて協会の考えをお伝えしたい。①9月13～17日、上海中心に10名ほどの第16次訪中団を派遣したい。小学校の訪問や先生方との交流等を希望している。②音楽教師養成の共同プロジェクトは続けていきたい。易県については一区切りとしたい。易県は教育環境も整い自立できる段階に来ていると思う。先生方も大変優秀で音楽教育を推進してきている。2014年度は引き続き100万円をセミナーに支援したい。③今後のプロジェクトの候補地は、宋慶齡基金會と協議の上、2年ぐらいかけて決めていきたい。④訪中は毎年ではなく、2～3年に一度ぐらいを考えていきたい。

唐 昨年三重の研修会は、今までの積み上げによって成果が実り、とても有意義だった。研修会の参加者とはその後も連絡をしまっている。教師のレベルアップ、能力アップに大いに寄与した。

次のプロジェクト候補地

唐 当該地の希望、受け入れ態勢の状態、宋慶齡基金會と合作経験の有無等を考慮して考えたい。北京周辺ないしは上海周辺はどうか。北京の周りにも山西省・山東省・内モンゴルなど貧しい地域が多い。内モンゴルは音楽的な要素が強く、音楽教育の交流としては良いのではないか。山東省の東平はとても貧しくて、教育支援プロジェクトを実施するのに良いと思う。北京からも近いし、2～3時間くらいだと思ふ。山西省は北京から3時間くらい。

上海が一番進んでいるところなのでリーダーの見学場所として意義があると思う。中国のトップレベルとの教育交流をするのによい。見学・交流は基金會の幼稚園や小学校もあるので対応できる。中学校や高校も要望があれば対応してみる。

黒田 候補地は、訪中・訪日団が交流できる地域がよいのではないか。候補地のデータをお願いしたい。今年度（2014）は訪中を行いたい。来年度（2015）は役員が具体的な候補地に行って、支援の場所を決めるということではどうかと考えている。教育支援については、良いレベルのものを提案していきたい。

唐 教育支援については、政府も一生懸命になってきている。小学校から大学まで貧しい生徒には奨学金もある。その場所の要望にそったソフト面・ハード面の支援が役立つ。当地の政府もそうした動きの中で支援してくれる。

黒田 宋慶齡基金會と日中国際教育交流協会の共同の力が、教育委員会や地方政府も巻き込んで教育支援に力を入れたという意味があったのではないか。近い将来（2016年くらいに）訪日団はできますか。

唐 易県だけでなくさらにいろんな場所に、もっと友情を広げていきたい。中国人は初めて会ってから二日目には、グンと友情が深まる。

黒田 日中関係は今非常に厳しい。しかし、宋慶齡基金會については、非常に懐が深い団体だと認識している。私たちは、みなさんと友情を育む中でとてもいい信頼関係を築いてきている。これからも遠慮なく率直に話し合っていきたい。（赤岡記）



唐九紅部長と黒田代表理事

フジ国際語学院卒業式

ホームステイ参加の学生も

文化の翻訳者となって



卒業生記念撮影

3月3日、フジ国際語学院（山中小白代表）卒業式に出席し、日本留学生の卒業を祝いました。学生たちの手作りによる卒業式は、先生方への感謝を見事なパフォーマンスで演出すると共に、日中友好の架け橋になるという決意が感じられ、感動的なものでした。また一昨年、教育交流ホームステイ in 山梨に参加した学生たちも無事優秀な成績で進学しました。ホームステイで得た貴重な体験を『文化の翻訳者』として生かしていくことでしょう。

荒川優子校長からは、「年会報に、学生の文章と写真が大きく掲載されていて嬉しく拝見いたしました。学生にとってよい思い出になるとともに、こうした文章が掲載されたことが自信につながり、進学にもきっと役に立つことと思います。本当にありがとうございました。」との言葉がありました。また、山中小白代表は「語学を勉強することは大事なことです。でももっと大事なことは、人間性を育むこと。」と語りました。式では中国大使館教育処白剛参事官、元重慶総領事他の皆さんが挨拶を行ないました。白剛参事官は会場で、「教育処は要望があれば、いつでも懇談会の用意をして待っている。“教育処”の名称も、なじみのある“教育部”としたい」と述べました。協会からは山中・吉田の両業務執行理事が出席しました。



卒業生とフジ国際語学院教職員及び関係者

国内でも日中国際交流の確かな歩み

日本語スピーチコンテスト

中国教育国際交流協会、日本経済新聞社などが主催する第8回全中国選抜日本語スピーチコンテストが1月20日、都内で開催されました。来賓として出席した中国大使館韓志強公使は、「グローバル時代において、お互いを知る、歴史を知ること、そして自分の考えを主張することが大事だ」と挨拶しました。今回のテーマは「日本に紹介したい中国のことわざ 中国に紹介したい日本のことわざ」でした。コンテストには中国教育国際交流協会林佐平常務理事が出席しました。

第16次訪中団、第3回ホームステイ

参加者募集について

●第16次訪中団

○日時 2014年9月12日～9月17日
(羽田前泊含む)

○訪問地 上海市、南京市
(学校訪問・史跡参観・教育交流)

○募集人数 10名以上

○費用 180,000円

○詳しい問い合わせは協会事務局まで

●第3回教育交流ホームステイ

(今年度は中国人留学生に限る)

○日時 2013年8月8日～8月10日

○ホームステイ先 山梨県

○募集人数 7名予定

○費用 10,000円

○詳しい問い合わせは協会事務局まで

◎いずれの募集とも定員になり次第申し込みを締め切ります。

教育工会の白立文さんを訪ねました！

黒田代表理事・山中業務執行理事・赤岡理事の3名は、3月24日(月)に北京において、中国教科文衛體工会全国委員会国際代表の白立文さんを中心に中華全国総工会へ訪ねました。和やかな雰囲気の中で交歓が行われ、今後の様々な活動の可能性について意見が交わされました。白さんから「中国は何事においても量から質への段階に入りました」という発言があり、心に残りました。



白立文代表を囲んでの記念写真